

イエス様の警戒（マルコ 3:7-12）

人生にはさまざまな困難や問題があります。困難や問題に出会うとき、その問題解決に神経がとられると、人生において大事なことを逃してしまいます。今日の聖書箇所、イエス様は迫って来る人々と少し距離を置き、悪霊を戒められました。

1. イエス様は単に人の困っていることを解消するために来られた方ではありません

1) 病と困難は良いきっかけ

（ターニングポイント）

弱さや人生の限界に気づいてイエスに向かう良いきっかけとなります。それをきっかけにして、イエスに従うようになったことは幸いです。

2) きっかけ（肉）に留まらないように
きっかけにこだわると、そこに留まるようになります。出エジプトしたのに、エジプトのことを思い出して戻りたいと言ったように。

3) 本当の祝福に盲目になる

肉的なきっかけに留まると、宗教の色から脱することなく、ごりやくに留まり、道徳的価値を追いかけ、宗教生活になります。

4) 難しいとつぶやき、十字架に背く

イエス様が「わたしがいのちのパンです。生かすのは霊で肉は無益です」と言われたとき、難しいとつぶやいて離れて行ったように、信仰から離れ、十字架に背きます。

2. イエス様は神の国としてこの地に来られたキリストです

1) マタイ 4:17

公の働きを始められたときに、最初に言われたことが「悔い改めなさい。天の御国が近づいたから。」イエス様ご自身が、天の御国です。ニコデモにも、イエスを信じて新しく生まれる、神の国に入ることと言われます。

2) この世は神を離れた世の国

なぜなら、この世は神様を離れて、神様を知らずに敵対するところだからです。

3) この世はサタンに支配され滅びるサタンの国

見えることがすべてだと思って、自分しか分かりません。サタンが働いて、偶像をおがませ、宗教に走らせ、シャーマンに頼らせます。世は滅びるしかないサタンの国です。

4) イエス様はサタンの国を砕いて、人々を世の国から神の国へ

イエスを信じる者は、死からいのちに移っていると言われました。神の国が世の国に入ってきたのです。

5) 神の国を遮る肉への執着から距離を

神の国に移すために来られたことを無視して、肉に執着することから距離を置きなさいと言われます。それにこだわると、神の国の祝福がすべて遮られます。

6) 間違った信仰への誘い込みを警戒を

悪霊が「神の御子」と告白しますが、それは信仰告白ではありません。悪霊は、

肉に執着させ、まちがった信仰に走るようにさせます。バプテスマのヨハネ、エレミヤ、エリヤ、預言者のひとりのように思わせます。それゆえ、イエス様は、だまれと叱り、戒められました。

肉的きっかけは、感謝とともに手放しましょう。自分の中に神の国がある（マタイ 5:3）

ことに感謝して、神経をそちらへ向けましょう。自分の中に御座の祝福が現れることに集中しましょう。神の国が自分の内にあること、

御座の祝福を祈っていると、考え、心、たま

ましいに神の国が現れます。地上にないもの、イエスの光が現れます。三位一体の神様が考

え、心に臨むように祈りましょう。みことばが成就する人生になり、証拠が現れます。そ

の証拠を携え、現場にサタンの国が砕かれ、

神の国が臨まれるように祈りましょう。そうすれば、伝道の門が開かれます。かわいそうなたましいが見えてきて、助けを求めて来るので、その人に答えを話してあげると、聖霊の働きが起こります。この確信を持つプラットフォームになります。

イエス様は肉のきっかけを持つ人と距離を置かれました。私たちも、自分の肉の願い

やこだわりを断ち切り、本物の祝福、地上の世界を動かせる神の国の祝福が、心、考え、

たましいに臨むように、5分でも10分でも祈りま

しょう。みことばを深く考えて成就する違う次元の世界に祈りで入るように願

います。

1部-マルコ 3:7-12 イエス様の警戒

なるほど/ イエス様は肉の問題解決にこだわり、目が暗くなって、神の国の本当の祝福を逃さないように警戒して導かれる。

ならば/ 肉のきっかけを手放して、私の中に神の国が臨んでいることを感謝し、御座の祝福に集中する祈りの信者になろう。

2部-詩篇 23:1-6 味わう人生

なるほど/いのちの祝福により霊の状態が整備されると、暗やみと苦難と人生の旅程に騙されず、いのちの祝福を味わい、勝利出来る。

ならば/ すべてを譲り、苦難に感謝し、利害にこだわらない器を整え、答えに備えよう。